教務委員会

1．年度計画の実施状況

教務委員会の年度計画は、第 3 期中期計画の三カ年目に当たり、新しい人文社会科学部としての新カリキュラムの 2 年目として本格的なメジャー教育、サブメジャー教育を円滑に進めることが計画の主要項目となっており、これに全力を注いだ。

年度計画に係る委員会業務として本年度に実施したのは、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーに基づくカリキュラムの円滑な実施、新しいメジャー･サブメジャー制に対応する時間割の導入、新規科目であるメジャー基礎ゼミナール・ガイドラインの作成と実施、サブメジャー選択手続きの設計、サブメジャー・プログラムの微修正、複雑なカリキュラム理解深化のための在学生向けガイダンスの強化（2 年次及び 3 年次）、ライフデザインを含む共通教育との調整、卒業研究ルーブリックの作成等を実施した。また、評価に関わっては、FD（年 2 回）を開催した。前学期は所年次教育について学科で意見交換を行い、後学期はメジャー・学科・学部の三階層で、オムニバス型授業の成績評価、メジャー基礎ゼミナールの現状と課題、サブメジャー・プログラムの時間割上の課題等について意見交換を行った。

2．その他の活動報告：現カリキュラムの着実な実行と新カリキュラム開始の両立

平成 29 年度からの新カリキュラムのスタートに際し、①新カリキュラムに迅速に対応するため教育の企画・修正・改革を目的とする企画部会（委員長・副委員長・学科長により構成）と、②公平・公正性をもって現・新カリキュラムの着実な運営を管理する実施部会（委員長・副委員長・各学科の委員により構成）に分けていたが、2 年目を迎え、企画と実施上の同時調整が必要な事案も増えたことから、企画・実施合同委員会を各月第 1 水曜日に定例化し、計 13 回開催して課題に対処した。これとは別に企画部会を臨時で計 2 回開催し、新しいガイダンスの設計等、年度計画を含む種々の課題に取り組んだ。昨年度に引き続き、各学科の教務関係ルーティンワークも含めて多大なる業務になったことについて、ご協力をいただいた学科長及び委員の先生方には厚く謝意を申し上げたい。

平成 30 年度教務委員会委員長：田中裕